

乳児等通園支援事業の量の見込みの補正について

(別紙)

			令和7年度			令和8年度			令和9年度			令和10年度			令和11年度		
			2歳	1歳	0歳	2歳	1歳	0歳	2歳	1歳	0歳	2歳	1歳	0歳	2歳	1歳	0歳
教育・保育	推計児童数	①	2,236人	2,228人	2,150人	2,217人	2,140人	2,099人	2,133人	2,092人	2,055人	2,089人	2,052人	2,011人	2,049人	2,007人	1,962人
	確保方策合計	②	1,341人	1,188人	580人	1,425人	1,272人	602人	1,491人	1,338人	622人	1,509人	1,356人	624人	1,509人	1,356人	624人
乳児等通園支援	対象年齢の未就園児数	③=①-② 0歳:①/2-②	895人	1,040人	495人	792人	868人	448人	642人	754人	406人	580人	696人	382人	540人	651人	357人
	利用率		40%	40%	40%	40%	40%	40%	40%	40%	40%	40%	40%	40%	40%	40%	40%
	必要受入れ時間数※A	③×10時間 ×利用率	3,580時間	4,160時間	1,980時間	3,168時間	3,472時間	1,790時間	2,568時間	3,016時間	1,622時間	2,320時間	2,784時間	1,526時間	2,160時間	2,604時間	1,428時間
	確保方策※B	定員一人あたり88 時間で換算した時間数	968時間	352時間	352時間	1,144時間	528時間	528時間	1,320時間	704時間	704時間	2,200時間	1,584時間	2,112時間	3,256時間	2,640時間	3,168時間
	過不足量	B-A	▲2,612時間	▲3,808時間	▲1,628時間	▲2,024時間	▲2,944時間	▲1,262時間	▲1,248時間	▲2,312時間	▲918時間	▲120時間	▲1,200時間	586時間	1,096時間	36時間	1,740時間

【国手引き】量の見込みの算出方法

$$\text{量の見込み(必要定員数)} = (\text{ア}) \text{必要受入れ時間数} \div (\text{イ}) \text{定員一人1月当たりの受入れ可能時間数}$$

(ア)「必要受入れ時間数」

<基本的な算出式> 対象年齢(※1)の未就園児数×月一定時間(※2)

(※1) 試行的事業における対象者を踏まえ0歳6か月から満3歳未満と仮定

(※2) 試行的事業における上限を踏まえ10時間と仮定する

市において、算出式に利用割合を乗じて算出することも可能。

(イ)「定員一人1月当たりの受け入れ可能時間数」(※3)

(※3) 月176時間(8時間×22日)を基本とする

市独自に必要受入れ時間数を算出することも可能

★補正の考え方

国どおり上限10時間、利用率を試行的事業の実績より利用率を40%で設定する。

★補正の考え方

職員体制・利用見込・実施可能性等を勘案し、1日午前2時間、午後2時間(計4時間)×22日=88時間を基本とする